

学校における生成AIの利活用とは？

児童生徒にとって



思考を深める壁打ち相手

目的：深い学びの実現
(探究の基盤となる情報活用能力の育成)

教職員にとって



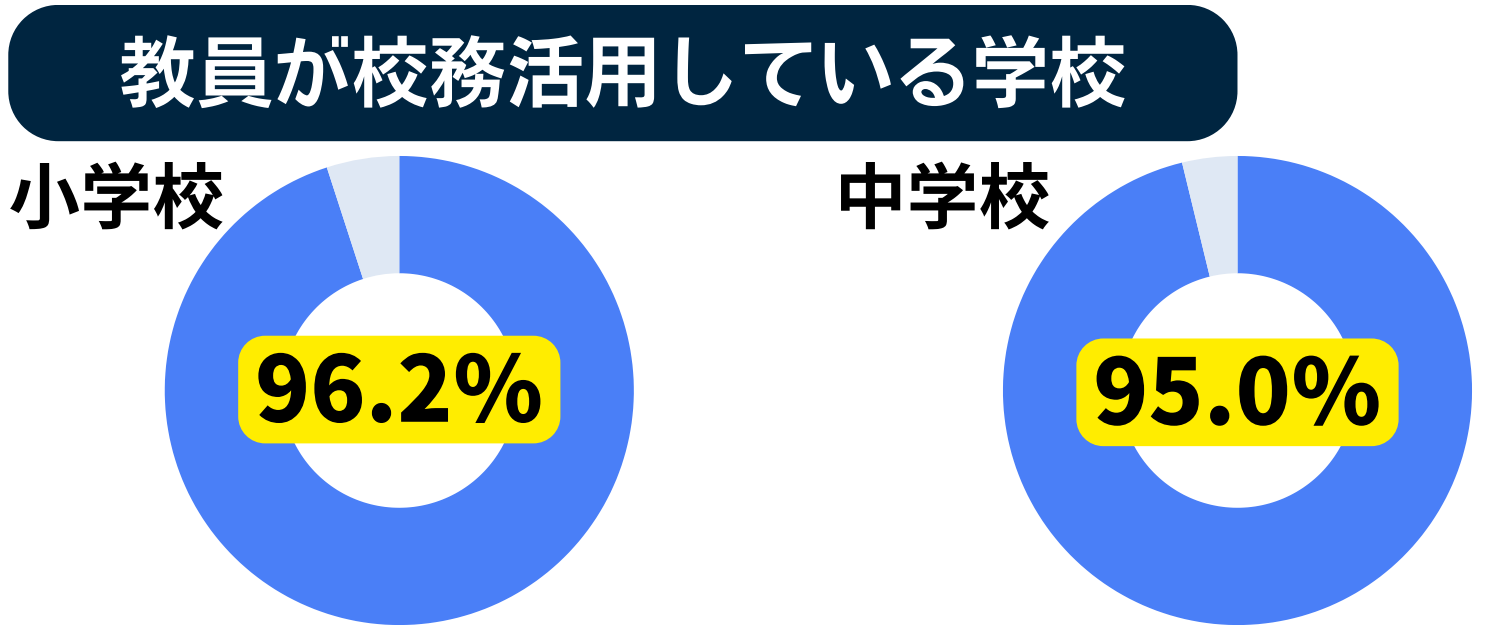
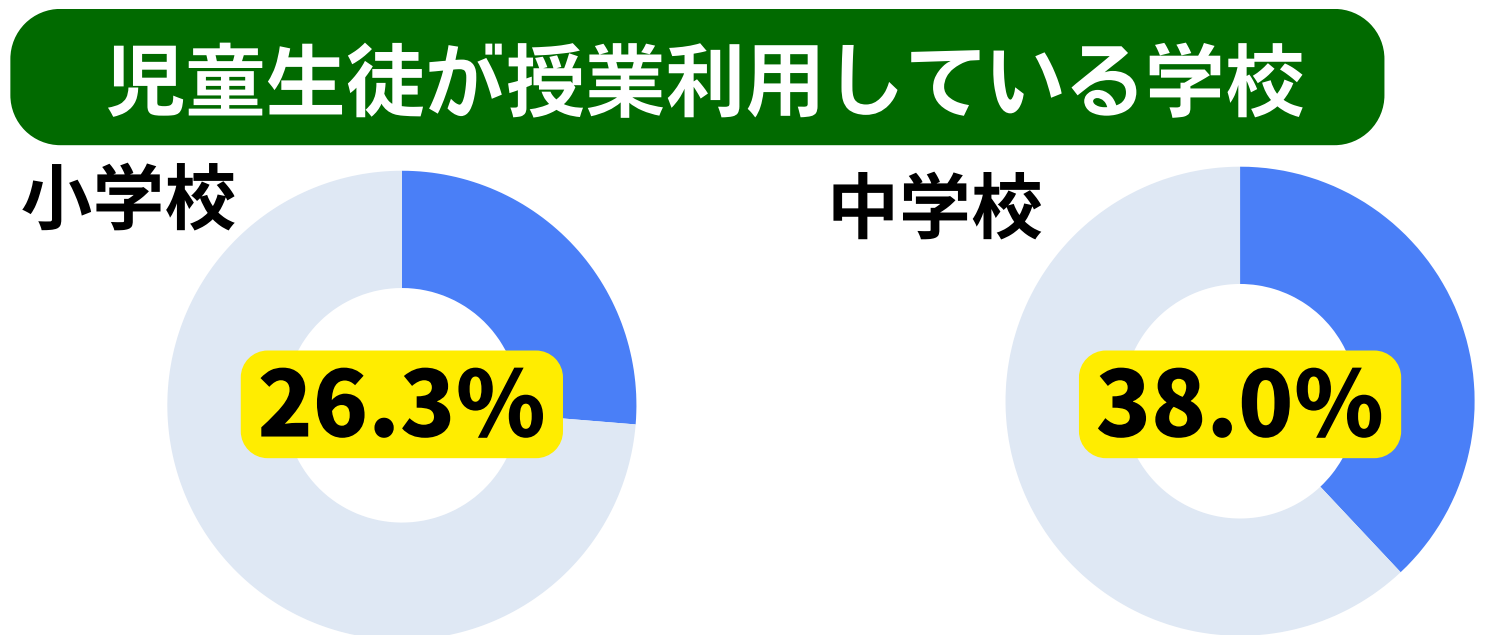
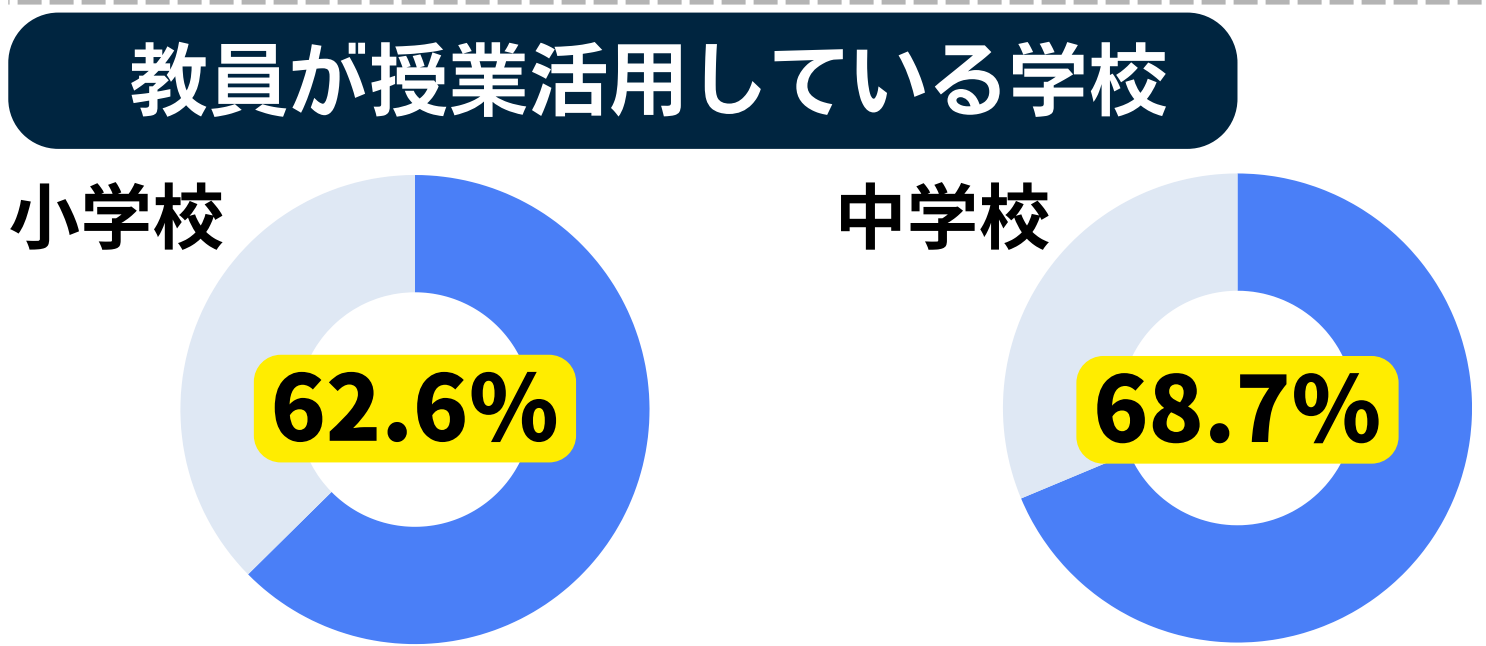
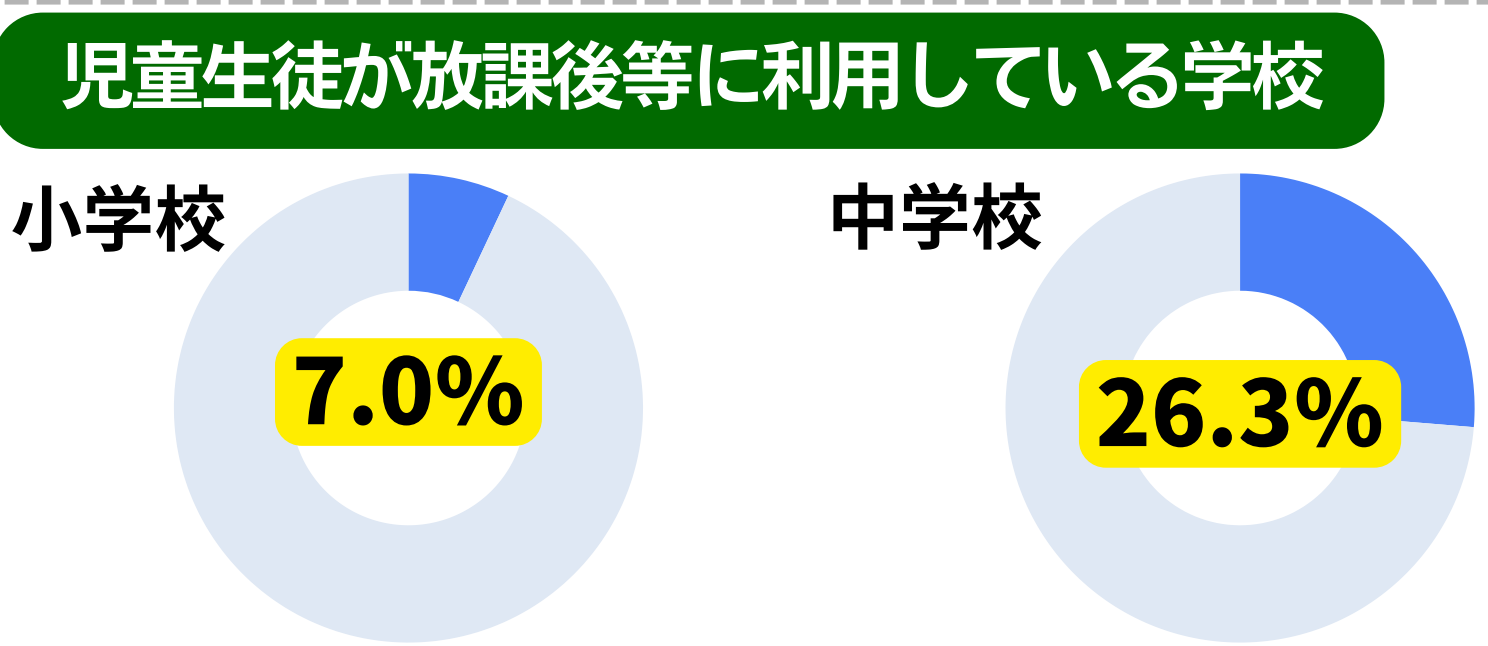
業務のたたき台を作る 優秀な助手

目的：実現可能性の確保
(教職員の業務効率化・働き方改革)

リアルな学びを**代替**するものではなく**充実**させるものに。
最終的な判断や価値創造は、必ず人間が行う。

長野県内の小中学校の利活用状況（R8学校経営概要調査より）

教員の活用は広く浸透してきています。
今後は児童生徒自身の学びへ、どう安全に繋ぎ、充実させるかが焦点。



校務での活用を入口として、授業や学習場面へ段階的に広げていく時期

長野県内の小中学校の生成AI利活用例

教員が校務活用している学校

小学校 **96.2%**
中学校 **95.0%**



- 学級通信のたたき台
- アンケートの集計、分析の補助
- 研修や講演会の要約
- お便りの翻訳

教員が授業活用している学校

小学校 **62.6%**
中学校 **68.7%**



- 数学練習問題プリント
- 授業での提示スライド
- 英語の例文
- 子どもたち用の壁打ちAIや個別の学習アプリの作成

児童生徒が授業利用している学校

小学校 **26.3%**
中学校 **38.0%**



- 生成AIについて学ぶ
- 足りない視点や考えを補う
- 対話で自作の短歌を推敲
- 英会話の練習相手
- プログラミングの補助

児童生徒が放課後等に利用している学校

小学校 **7.0%**
中学校 **26.3%**



- 生徒会企画のアイデア出し
- 文章校正の相談
- プレゼンのスライド
- 全校アンケートの集計、分析の補助

教員の声



30代教諭

これから生徒たちが必ず付き合っていくAIを、授業に正しく取り込み、「こんな使い方もあるんだ」とAIの魅力的で正しい使い方を広めることが急務と考えます。

生成AIは便利な道具ですが、使い方を誤ると、生徒の思考停止や依存を生む可能性もあると思います。一方で、問い返し・思考の可視化・振り返り支援として適切に活用することで、生徒の探究心や、やる気を強く刺激する可能性があると思っています。



30代教諭

長野県の学び



直接体験を通し、五感を使いながら、
地域に根差した学びを大切にしていくことは
今後も変わらない。